

第22回 卒業証書授与式 卒業生代表答辞

凜と澄み渡った青空が、まるで私たちの未来を祝福しているかのように広がる今日、私たちは新たな一歩を踏み出します。真板竜太郎校長先生をはじめ、皆様からの心温まる祝辞や激励の言葉をいただき、卒業生一同、感謝の気持ちでいっぱいです。今こうして高校生活を振り返ると、授業や学校行事、部活動や友達とのかけがえのない日々が頭に浮かんできます。

三年前、私たちは希望と不安を胸に、この学び舎の門をくぐりました。初めてのことで戸惑うことも多くありましたが、先生方の温かいご指導や、家族の支え、そして仲間たちのおかげで、新生活を楽しく始めることができました。

学校行事で特に印象に残っているのは文化祭です。三年次のクラス企画では模擬店をりましたが、具材が足りないなどのハプニングを皆で協力して乗り越えたことで、コミュニケーションをしつかりとることの大切さに気づきました。また体育祭もとても印象に残っています。クラス対抗リレーを走る際には、日常では経験できない緊張感を味わい、メンバーたちとの信頼関係やクラスメイトとの絆を強く感じることができました。

二年生の時の修学旅行も、昨日のことのようによく覚えています。国際通りで派手な色をしたアイスクリームを皆で一緒に食べた後に、舌の色を見せ合って笑ったのはよい思い出です。

その他に高校生活で印象に残っていることは人との出会いです。私たちは数多くの先生方に支えられてきました。この三年間、多くのことを学び、成長することができたのは、私たち一人ひとりと真剣に向き合い、時には励まし、時には厳しく指導して下さった先生方のおかげです。振り返れば、この三年間、先生方は常に私たちのそばにいてくださいました。先生方の教えを胸に、これからの道を力強く歩んでいきます。ありがとうございました。

在校生の皆さん、先ほどは、心のこもった送辞をありがとうございました。私たちがここまで歩んでこられたのは、皆さんの存在があったからこそです。学校生活の中で、何気ない日々の会話や、一緒に過ごした時間がどれほど支えになったことでしょうか。部活動や委員会活動で励まし合い、時には競い合いながら共に成長できたことは、私たちにとって大きな財産です。私たちは卒業しますが、これからの学校をつくるのは皆さんです。皆さんのこれからの活躍を心から応援しています。

そして、どんな時も私たちのそばで見守り、励まし、時には厳しく叱ってくれた家族の存在があったからこそ、今日この日を迎えることができました。普段の生活の中で、当たり前のように用意されていた朝食やお弁当、家を出る時にかけてくれる「いってらっしゃい」の言葉、帰宅した時の「おかえり」の一言。その一つひとつが、どれほど大きな支えになっていたか、改めて実感しています。進路決定の際、お互いの主張がぶつかること、無理を言って受験をさせてくれたこともありましたが、今日、こうして卒業を迎え、新しい一歩を踏み出せるのは、家族がどんな時も変わらず私たちを支え、信じてくれたからです。本当にありがとうございました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、成長した姿を見せられるように頑張ります。

そして、同じ時を過ごし同じ学びを得た卒業生の皆さん。三年間ありがとうございました。この学校で出会えたこと、共に三年間の時を過ごし、今日共に卒業できることを心から嬉しく思います。

そんな卒業生の皆さんと在校生の皆さんにこの言葉を残したいと思います。「挑戦は人生成功への第一歩。」これから私たちは挑戦し、自分を知り、限界を超える力を身につけることでしょう。そして、仲間と共に歩むことで、自分一人では達成できなかったことを成し遂げていきます。

何かに向かって全力で挑み、仲間と助け合いながら歩んでいく。そんな高校生活で培った精神を胸に、私たちは次のステージへ進んでいきます。これまでの三年間で得たものを大切にしながら、それぞれの道で輝き続けていきます。

最後になりますが、校長先生を始め、諸先生方、事務室やバスの運転手の皆様、私たちに関わってくださった皆様に感謝を申し上げ、木更津総合高等学校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいかれますことを祈念して答辞とさせていただきます。

令和7年3月1日

卒業生代表 原颯汰